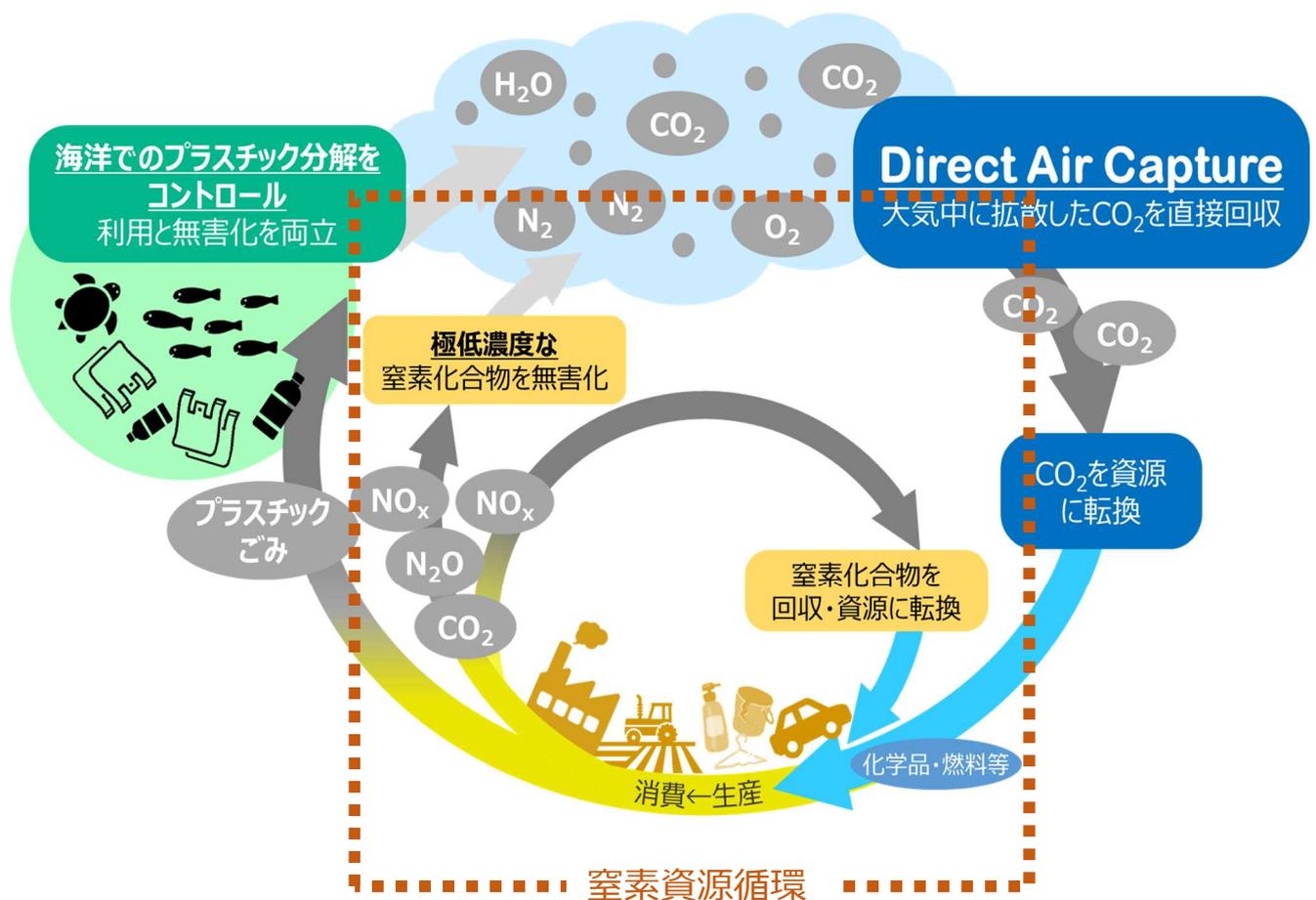


ムーンショット目標4における窒素資源循環の位置づけ

ムーンショット目標4 プログラムディレクター
地球環境産業技術研究機構 理事長・研究所長
山地 憲治

- NEDOはムーンショット目標4「2050年までに、地球環境再生に向けた持続可能な資源循環を実現」を担当している。
- 地球環境の喫緊の課題として、地球温暖化、海洋プラスチックごみ、窒素化合物の3つの課題がある。このうち窒素化合物はプラネタリーバウンダリーでもハイリスクな状態にあると指摘されている課題である。加えて、一酸化二窒素は温室効果が二酸化炭素のおよそ300倍であり、その排出削減が課題となっている。
- ムーンショット目標4では、環境中に排出されている窒素化合物を有用物質に変えて利用、無害化するための研究を行っている。



持続可能な資源循環の実現に向けて取り組む研究開発